

■現行対応項目:

- 指示コメント (指示種別が薬局) (ORDERSIJ_8)

■インターフェース

string IPrescription.SupplyInstruction [get;]

処方箋全体の調剤に対する指示コメント。

1.5.12. 投薬・服用指示コメント

■定義

処方箋全体の投薬・服用(患者向け)に対するフリーテキストによる指示コメント。

■現行対応項目:

- 指示コメント (指示種別が患者) (ORDERSIJ_8)

■インターフェース

string IPrescription.AdministrationInstruction [get;]

処方箋全体の投薬・服用に対する指示コメント。

1.5.13. 薬剤情報提供有無指示

■定義

薬剤情報(薬品名・効能)を患者に提供するかどうかを指定する指示。メッセージ中には指示有、指示無しの2種類の値をとるコード化値として表現される。

■現行対応項目:

- 薬剤情報提供の有無 (ORDERCTR_13)
- 薬剤情報提供料加算有無 (ORDERCTL_35)

■インターフェース

bool IPrescription.ProvidesDrugInformation [get;]

薬品情報(薬品名・効能)を患者に提供するかどうかを示す Bool 値を取得する。

1.5.14. 一包化指示

■定義

薬を提供するときに一包化するかどうかを指定する指示。メッセージ中には指示有、指示無しの2種類の値をとるコード化値として表現される。

■現行対応項目:

- 一包化サイン (ORDERCTR_39)

■インターフェース

bool IPrescription.SuppliesAsSinglePack [get;]

薬を提供するときに一包化するかどうかを示す Bool 値を取得する。

1.5.15. 病名情報

■定義

処方オーダーに関係する病名に関する情報。ユヤマ向けメッセージに使用される。詳細は、〇〇〇節の病名情報情報参照。

■現行対応項目:

- なし

■インターフェース

int IPrescription.DiagnosisCount [get;]

処方箋に含まれる病名情報数を取得する。

IDiagnosis IPrescription.DiagnosisAt(int i)

処方箋に含まれる、i 番目の病名情報を、IDiagnosis インターフェースとして取得する。対応する病名情報が存在しない場合には null を返す。

1.5.16. 患者情報

■定義

処方箋の対象となる、患者情報。詳細は、〇〇〇節患者情報参照。

■現行対応項目:

- 〇〇〇節参照。

■インターフェース

IPatient IPrescription.Patient [get;] (HL7 必須関連)

処方箋の対象となる患者情報を、患者インターフェース IPatient として取得する。詳細は〇〇〇患者情報参照。

1.5.17. オーダー作成医師情報

■定義

処方箋の作成医師情報。詳細は、〇〇〇節オーダー作成医師情報参照。

■現行対応項目:

- 〇〇〇節参照。

■インターフェース

IPhysician IPrescription.Physician [get;] (HL7 必須関連)

処方箋作成医師情報を、医師インターフェース IPhysician として取得する。詳細は〇〇〇節医師情報参照。

1.5.18. 入力代行者情報

■定義

処方箋の入力代行者情報。詳細は、〇〇〇節入力代行者情報参照。

■現行対応項目:

- 〇〇〇節参照。

■インターフェース

IDataEnterer IPrescription.DataEnterer [get;]

処方箋の入力代行者情報を、入力者インターフェース IDataEnterer として取得する。詳細は〇〇〇節入力代行者情報参照。

1.5.19. 診察情報

■定義

処方箋オーダーに関連する診察情報。詳細は、〇〇〇節診察情報参照。

■現行対応項目:

- ○○○節参照。

■インターフェース

IEncounter IPrescription.Encounter [get;]

処方箋の診察情報を、入力者インターフェース IEncounter として取得する。詳細は○○○節診察情報参照。

1.5.20. 修正元オーダー識別情報

■定義

修正オーダーの場合に、修正元オーダーを一意に識別するためのオーダーID。新規オーダーの場合には、null を指定する。

■現行対応項目:

- オーダーNo (ORDERCTL_7、ORDERYAK_6、ORDERYOH_2、ORDERSIJ_2)

■インターフェース

string IPrescription.PriorOrderId [get;]

修正元オーダーID(Extension)を取得する。ID(Extension)を持たない場合には null を返す。PriorOrderId と PriorOrderRootUId の両方ともが null か、あるいは両方とも非 null 値でなければならない。

string IPrescription.PriorOrderRootUId [get;]

修正元オーダーID(RootUID)を取得する。ID(RootUID)を持たない場合には null を返す。。PriorOrderId と PriorOrderRootUId の両方ともが null か、あるいは両方とも非 null 値でなければならない。

string IPrescription.PriorOrderIdIssuingAuthorityName [get;]

修正元オーダーID の ID 発行機関名称を取得する。ID 発行機関名称を持たない場合には null を返す。

1.5.21. 処方箋 Rp 情報

■定義

処方箋に含まれるひとつの Rp の情報。詳細は、○○○節の処方箋 Rp 情報参照。

■現行対応項目:

- なし

■インターフェース

int IPrescription.Count [get;]

処方箋に含まれる Rp 数を取得する。

IPrescriptionItemGroup IPrescription.ItemGroupAt(int i)

処方箋に含まれる、i 番目の Rp 情報を、IPrescriptionItemGroup インターフェースとして取得する。対応する Rp が存在しない場合には null を返す。

1.5.22. 健康保険情報

■定義

処方箋に適用される健康保険情報。詳細は、〇〇〇節の健康保険情報参照。外来メッセージのみ。入院メッセージには使用しない。

■現行対応項目:

- なし

■インターフェース

int IPrescription.InsuranceCount [get;]

処方箋に適用された健康保険数を取得する。

IInsurance IPrescription.InsuranceAt(int i)

処方箋に適用された、i 番目の健康保険情報を、IInsurance インターフェースとして取得する。対応する健康保険が存在しない場合には null を返す。

1.6. 処方箋 Rp 情報

処方箋の 1Rp 情報を表す。現行システムの考え方では、処方箋のひとつの Rp には、複数の薬剤とその薬剤に共通する 1つの用法が含まれる。これは、薬剤の処方量が用法ではなく、薬剤の情報に含まれるため、ひとつの Rp 内で用法は共通となるからである。しかし、HL7 のモデルで表現すると、薬剤の投与量は薬剤ではなく用法として表現されるため、ひとつの Rp 内でも用法は薬剤毎に異なり、薬剤と用法は 1対1の関係となる。Rp はこの薬剤と用法、そして薬剤情報に関連する薬剤払い出し情報の組（ここでは処方項目と呼ぶ）のコレクションとして表現される。

1.6.1. Rp 識別情報

■定義

処方オーダー内の 1Rp を一意に識別するための ID。現行では、「剤 No」によって識別されるが、HL7 メッセージで表現する場合、SubstanceAdministration Act を一意に識別するための id が必要となる。

■現行対応項目:

- 剤 No (ORDERYAK_8、ORDERYOH_4、ORDERSIJ_4)

■インターフェース

```
int IPrescriptionItemGroup.GroupNumber [get;]
```

処方箋に含まれる Rp の Rp 番号を取得する。

```
string IPrescriptionItemGroup.Id [get;] (HL7 必須属性)
```

処方箋 Rp の ID(Extension)を取得する。ID(Extension)を持たない場合には null を返す。

```
string IPrescriptionItemGroup.RootUId [get;] (HL7 必須属性)
```

処方箋 Rp の ID(RootUID)を取得する。ID(RootUID)を持たない場合には null を返す。

```
string IPrescriptionItemGroup.IdIssuingAuthorityName [get;]
```

処方箋 Rp の ID の ID 発行機関名称を取得する。ID 発行機関名称を持たない場合には null を返す。

1.6.2. 処方箋 Rp テキスト

■定義

処方箋の 1Rp のテキスト表現。人が見て理解するために提供される。

■現行対応項目:

- なし

■インターフェース

```
string IPrescriptionItemGroup.Text [get;]
```

処方箋の 1Rp のテキスト表現を取得する。値がない場合には null を返す。

1.6.3. 容器数

■定義

処方箋 1Rp に必要な容器数。

■現行対応項目:

- 新規追加

■インターフェース

```
int IPrescriptionItemGroup.ContainerCount [get;]
```

処方箋 1Rp に必要な容器数を取得する。

1.6.4. 処方箋 Rp 内処方項目情報

■定義

処方箋 1Rp に含まれるひとつの処方項目情報。詳細は、〇〇〇節の処方箋 Rp 内項目情報参照。

■現行対応項目:

- なし

■インターフェース

```
int IPrescriptionItemGroup.Count [get;]
```

処方箋 1Rp に含まれる処方項目数を取得する。

```
IPrescriptionItem IPrescriptionItemGroup.ItemAt(int i)
```

処方箋 1Rp に含まれる、i 番目の処方項目情報を、IPrescriptionItem インターフェースとして取得する。対応する処方項目が存在しない場合には null を返す。

1.7. 処方箋 Rp 内処方項目情報

処方箋の 1Rp 内の項目を表す。現行システムの考え方では、処方箋のひとつの Rp には、複数の薬剤とその薬剤に共通する 1つの用法が含まれる。これは、薬剤の処方量が用法ではなく、薬剤の情報に含まれるため、ひとつの Rp 内で用法は共通となるからである。しかし、HL7 のモデルで表現すると、薬剤の投与量は薬剤ではなく用法として表現されるため、ひとつの Rp 内でも用法は薬剤毎に異なり、薬剤と用法は 1対1 の関係となる。処方項目はこの薬剤と用法、そして薬剤情報に関連する薬剤払い出し情報の組として表現される。

1.7.1. 処方項目識別情報

■定義

処方オーダー内の 1Rp 内の 1 処方項目を一意に識別するための ID。現行では、「剤内シーケンス」によって識別されるが、HL7 メッセージで表現する場合、SubstanceAdministration Act を一意に識別するための id が必要となる。

■現行対応項目:

- 剤内シーケンス (ORDERYAK_9、ORDERYOH_5、ORDERSIJ_5)

■インターフェース

int IPrescriptionItem.SequenceNumber [get;]

処方箋 Rp に含まれる処方項目の剤内シーケンス番号を取得する。

string IPrescriptionItem.Id [get;] (HL7 必須属性)

処方箋 Rp に含まれる処方項目の ID(Extension)を取得する。ID(Extension)を持たない場合には null を返す。

string IPrescriptionItem.RootUId [get;] (HL7 必須属性)

処方箋 Rp に含まれる処方項目の ID(RootUID)を取得する。ID(RootUID)を持たない場合には null を返す。

string IPrescriptionItem.IdIssuingAuthorityName [get;]

処方箋 Rp に含まれる処方項目の ID の ID 発行機関名称を取得する。ID 発行機関名称を持たない場合には null を返す。

1.7.2. 薬剤情報

■定義

処方項目に含まれる 1 薬剤の情報。詳細は、〇〇〇節薬剤情報参照。

■現行対応項目:

- 〇〇〇節参照。

■インターフェース

IMedicationDrug IPrescriptionItem.Drug [get;]

処方項目に含まれる 1 薬剤の情報を、IMedicationDrug インターフェースとして取得する。詳細は〇〇〇節薬剤情報参照。

1.7.3. 薬剤払い出し情報

■定義

処方項目に含まれる薬剤払い出し情報。詳細は、〇〇〇節薬剤払い出し情報参照。

■現行対応項目:

- 〇〇〇節参照。

■インターフェース

IMedicationSupply IPrescriptionItem.Supply [get;]

処方項目に含まれる薬剤の払い出し情報を、IMedicationSupply インターフェースとして取得する。詳細は〇〇〇節薬剤払い出し情報参照。

1.7.4. 用法情報

■定義

処方項目に含まれる用法情報。詳細は、〇〇〇節用法情報参照。

■現行対応項目:

- 〇〇〇節参照。

■インターフェース

IMedicationAdministration IPrescriptionItem.Administration [get;]

処方項目に含まれる用法情報を、IMedicationAdministration インターフェースとして取得する。詳細は〇〇〇節用法情報参照。

1.7.5. 治験薬サイン

■定義

処方項目に含まれる薬剤が治験の対象となる薬剤かどうかを、オーダー時に医師が指定する。入院メッセージのみ。外来メッセージでは使用しない。

■現行対応項目:

- 治験薬サイン (ORDERYAK_20)

■インターフェース

bool IPrescriptionItem.CoveredByClinicalTrial [get;]

処方項目に含まれる薬剤が治験の対象となる薬剤かどうかを示す Bool 値を取得する。

1.7.6. 自費購入薬サイン

■定義

処方項目に含まれる薬剤が保険の対象とならない自費購入薬かどうかを、オーダー時に医師が指定する。入院メッセージのみ。外来メッセージでは使用しない。

■現行対応項目:

- 治験薬サイン (ORDERYAK_)

■インターフェース

bool IPrescriptionItem.ChargesToPatient [get;]

処方項目に含まれる薬剤が自費購入薬かどうかを示す Bool 値を取得する。

1.8. 薬剤情報

処方項目に含まれる、薬剤に関する情報。

1.8.1. 薬品名称

■定義

薬品の名称。

■現行対応項目:

- 薬品名称漢字 (ORDERYAK_11)

■インターフェース

```
string IMedicationDrug.CommercialName [get;]
```

薬品の商品名を取得する。値がない場合には null を返す。

```
string IMedicationDrug.AliasNameForHospital [get;]
```

薬品の院内薬品名を取得する。値がない場合には null を返す。

1.8.2. 薬品コード

■定義

薬品コード。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.ClinicalDrugCode
を使用する。CE 型。

■現行対応項目:

- 薬品コード (ORDERYAK_10)

■インターフェース

```
object IMedicationDrug.Code [get;]
```

薬品コードを object として取得する。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.ClinicalDrugCode で定義されたコード値
で、実際の型は CE 型である。

コードの文字列表現を得たい場合には、

```
string ClinicalDrugCode.Singleton.ToString(object);
```

を使用する。

コードの表示用文字列を得たい場合には、

```
string ClinicalDrugCode.Singleton.DisplayNameOf(object);
```

を使用する。

特定のコードとの等価性を調べる場合には、

```
bool ClinicalDrugCode.Singleton.<Get property for a specific code>.Equals(object);
```

を使用する。

1.8.3. 単位情報

■定義

薬品の単位コードを取得する。薬価単位と力価単位の 2 種類あり、薬価単位は、薬価計算で使用される単位で、注射以外の薬剤のオーダー時に使用する。力価単位は、力価を明示するとき使用される単位で、注射オーダーは力価単位を使用する。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.UnifiedCodeForUnitOfMeasure
を使用する。CS 型。

■現行対応項目:

- 単位区分 (ORDERYAK_13)
- 単位コード (ORDERYAK_14)

■インターフェース

```
object IMedicationDrug.UnitCodeForDrugPrice [get;]
```

薬品の薬価単位コードを object として取得する。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ValueSets.UnifiedCodeForUnitOfMeasure で定義されたコード値で、実際の型は CS 型である。

コードの文字列表現を得たい場合には、

```
string UnifiedCodeForUnitOfMeasure.Singleton.ToString(object);
```

を使用する。

コードの表示用文字列を得たい場合には、

```
string  
UnifiedCodeForUnitOfMeasure.Singleton.DisplayNameOf(object);
```

を使用する。

特定のコードとの等価性を調べる場合には、

```
bool UnifiedCodeForUnitOfMeasure.Singleton.<Get property for a
```

```
specific code>.Equals(object);
```

を使用する。

```
object IMedicationDrug.UnitCodeForStrength [get;]
```

薬品の力価単位コードを object として取得する。

ValueSet: `Kobe.Pharmacy.ValueSets.UnifiedCodeForUnitOfMeasure` で定義されたコード値で、実際の型は CS 型である。

1.9. 薬剤払い出し情報

薬剤の払い出し情報。薬局に対する指示を含む。

1.9.1. 払い出し日

■定義

薬剤の払い出し日。外来の場合は通常処方日と同じ。入院の場合は、診療科毎に定められた日。

■現行対応項目:

- 対応項目なし。

■インターフェース

DateTime IMedicationSupply.Date [get;]

薬品の払い出し日を取得する。値がない場合には `new DateTime()` を返す。

1.9.2. 払い出し総量

■定義

薬剤の払い出し総量。単位は、`IMedicationDrug.UnitCodeForDrugPrice` で指定される単位を使用する。(→正しいか? 明示的に単位も設定できるようにすべきか?) 必須属性で省略できないため、明示的に `Null` インスタンスを指定したい場合には `double.NaN` を使う。
(HL7 必須属性)

■現行対応項目:

- 処方数量(全量) (`ORDERYAK_12`)。

■インターフェース

double IMedicationSupply.TotalDrugQuantity [get;]

薬品の払い出し総量を取得する。値がない場合には `new double()` を返す。明示的に `Null` 値を指定する場合には `double.NaN` を返す。

1.9.3. 払い出し指示コメント

■定義

処方箋内のある特定の薬剤の払い出しに対する薬局向けコメント。

■現行対応項目:

- 指示種別 (ORDERSIJ_6) (薬局)
- 指示コメント (ORDERSIJ_8)

■インターフェース

string IMedicationSupply.Instruction [get;]

特定の薬剤のための薬局向け指示コメントを取得する。値がない場合には null を返す。

1.9.4. 粉砕指示

■定義

薬を提供するときに粉砕するかどうかを指定する指示。メッセージ中には指示有、指示無し
の2種類の値をとるコード化値として表現される。

■現行対応項目:

- 粉砕サイン (ORDERYAK_27)

■インターフェース

bool IMedicationSupply.HasCrushInstruction [get;]

粉砕指示の有無を示す Bool 値を取得する。

1.9.5. 分割指示

■定義

薬を提供するときに分割するかどうかを指定する指示。メッセージ中には指示有、指示無し
の2種類の値をとるコード化値として表現される。

■現行対応項目:

- 粉砕サイン (ORDERYAK_27)

■インターフェース

bool IMedicationSupply.HasBreakInstruction [get;]

分割指示の有無を示す Bool 値を取得する。

1.9.6. 混合指示

■定義

薬を提供するときに混合するかどうかを指定する指示。メッセージ中には指示有、指示無しの2種類の値をとるコード化値として表現される。現行ではRp単位の指示であるが、薬剤単位で指示を指定する。

■現行対応項目:

- Mix 指示 (ORDERYOH_28)

■インターフェース

```
bool IMedicationSupply.HasMixInstruction [get;]
```

混合指示の有無を示す Bool 値を取得する。

1.9.7. 経管チューブ指示

■定義

薬を提供するときに経管チューブと一緒に提供するかどうかを指定する指示。メッセージ中には指示有、指示無しの2種類の値をとるコード化値として表現される。現行ではRp単位の指示であるが、薬剤単位で指示を指定する。

■現行対応項目:

- Mix 指示 (ORDERYOH_28)

■インターフェース

```
bool IMedicationSupply.HasFeedingTubeInstruction [get;]
```

経管チューブ指示の有無を示す Bool 値を取得する。

1.10. 用法情報

薬剤の用法に関する情報。服用期間や処方数量、用法コード等を含む。

1.10.1. 服用期間

■定義

薬剤の服用期間。現行では処方箋単位で服用開始日を持つが、HL7 メッセージでは、用法毎に服用開始日を指定する。用法区分が内服定時または内服不均等の場合、服用終了日も指定する。それ以外の用法区分の場合には、服用終了日は指定できないため、`new DateTime()`を指定する。

■現行対応項目:

- 服用開始日 (ORDERCTL_28)
- 処方変更服用開始日 (ORDERYOH_24)
- 処方変更服用中止日 (ORDERYOH_25)

■インターフェース

`DateTime IMedicationAdministration.StartDate [get;]`

薬品の服用開始日を取得する。値がない場合には `new DateTime()`を返す。

`DateTime IMedicationAdministration.EndDate [get;]`

薬品の服用終了日を取得する。値がない場合には `new DateTime()`を返す。

1.10.2. 服用日数

■定義

薬剤の服用日数。用法区分が内服定時または内服不均等の場合の、隔日指示も考慮した実質の服用日数。それ以外の用法区分の場合には、服用日数は指定しない(負数を指定)。服用期間と服用日数との整合性は、インターフェースを利用するアプリケーションの責務であり、HL7 メッセージは、インターフェースで指定された服用期間と服用日数の値をそのまま利用する。

■現行対応項目:

- 処方日数または回数 (ORDERYOH_12)

■インターフェース

int IMedicationAdministration.DoseDays [get;]

用法区分が内服定時、または内服不均等の場合に、薬品の服用日数を取得する。それ以外の用法区分の場合は、-1を返す。

1.10.3. 処方数量 (1 日量)

■定義

薬剤の1日の処方数量。単位は、IMedicationDrug.UnitCodeForDrugPriceで指定される単位コード(薬価)。用法区分が内服定時または内服不均等の場合のみ有効。それ以外の用法区分の場合には指定しない(new double()を指定)。処方数量(1日量)と処方数量(1回量)、および処方数量(1日分の1回量の配列)との整合性は、インターフェースを利用するアプリケーションの責務であり、HL7メッセージは、インターフェースで指定された値をそのまま利用する。

■現行対応項目:

- 処方数量 (ORDERYAK_12)

■インターフェース

double IMedicationAdministration.DailyDrugQuantity [get;]

用法区分が内服定時、または内服不均等の場合に、薬品の1日の処方数量を取得する。値がない場合(内服定時、内服不均等以外の用法区分の場合)は、new double()を返す。Nullインスタンスの場合はdouble.NaNを返す。

1.10.4. 処方数量 (1 回量)

■定義

薬剤の1回の処方数量。単位は、IMedicationDrug.UnitCodeForDrugPriceで指定される単位コード(薬価)。用法区分が内服定時または内服頓用の場合のみ有効。それ以外の用法区分の場合には指定しない(new double()を指定)。メッセージ作成時、内服定時の場合はDailyUnitDrugQuantitiesの値が使用されるため、このインターフェースで指定した値は使用されない。Nullインスタンスの場合はdouble.NaNを指定する。

■現行対応項目:

- 処方数量 (ORDERYAK_12)

■インターフェース

double IMedicationAdministration.UnitDrugQuantity [get;]

用法区分が内服定時、または内服頓用の場合に、薬品の1回の処方数量を取得する。値がない場合（内服定時、内服頓用以外の用法区分の場合）は、`new double()`返す。Nullインスタンスの場合は`double.NaN`を指定する。

1.10.5. 処方数量（1日分の1回量の配列）

■定義

薬剤の1日分の1回処方数量の配列。単位は、`IMedicationDrug.UnitCodeForDrugPrice`で指定される単位コード(薬価)。用法区分が内服定時、内服不均等の場合のみ有効。それ以外の用法区分の場合には指定しない(空の配列を指定)。

■現行対応項目:

- 処方数量 (ORDERYAK_12)
- 不均等投与 1~10 (ORDERYOH_13-22)

■インターフェース

Double[] IMedicationAdministration.DailyUnitDrugQuantities [get;]

用法区分が内服不均等の場合に、薬品の1日分の1回の処方数量の配列を取得する。値がない場合（内服不均等以外の用法区分の場合）は空の配列を返す。

1.10.6. 1日の服用回数（1日分量）

■定義

薬剤の1日の服用回数。用法区分が内服定時または内服不均等の場合のみ有効。それ以外の用法区分の場合には0を指定。メッセージ作成時には使用されない。

■現行対応項目:

- 1日分量 (ORDERYOH_9)

■インターフェース

int IMedicationAdministration.NumberOfDoseInADay [get;]（メッセージ作成時実装不要）

用法区分が内服定時、または内服不均等の場合に、薬品の1日の服用回数を取得する。そ